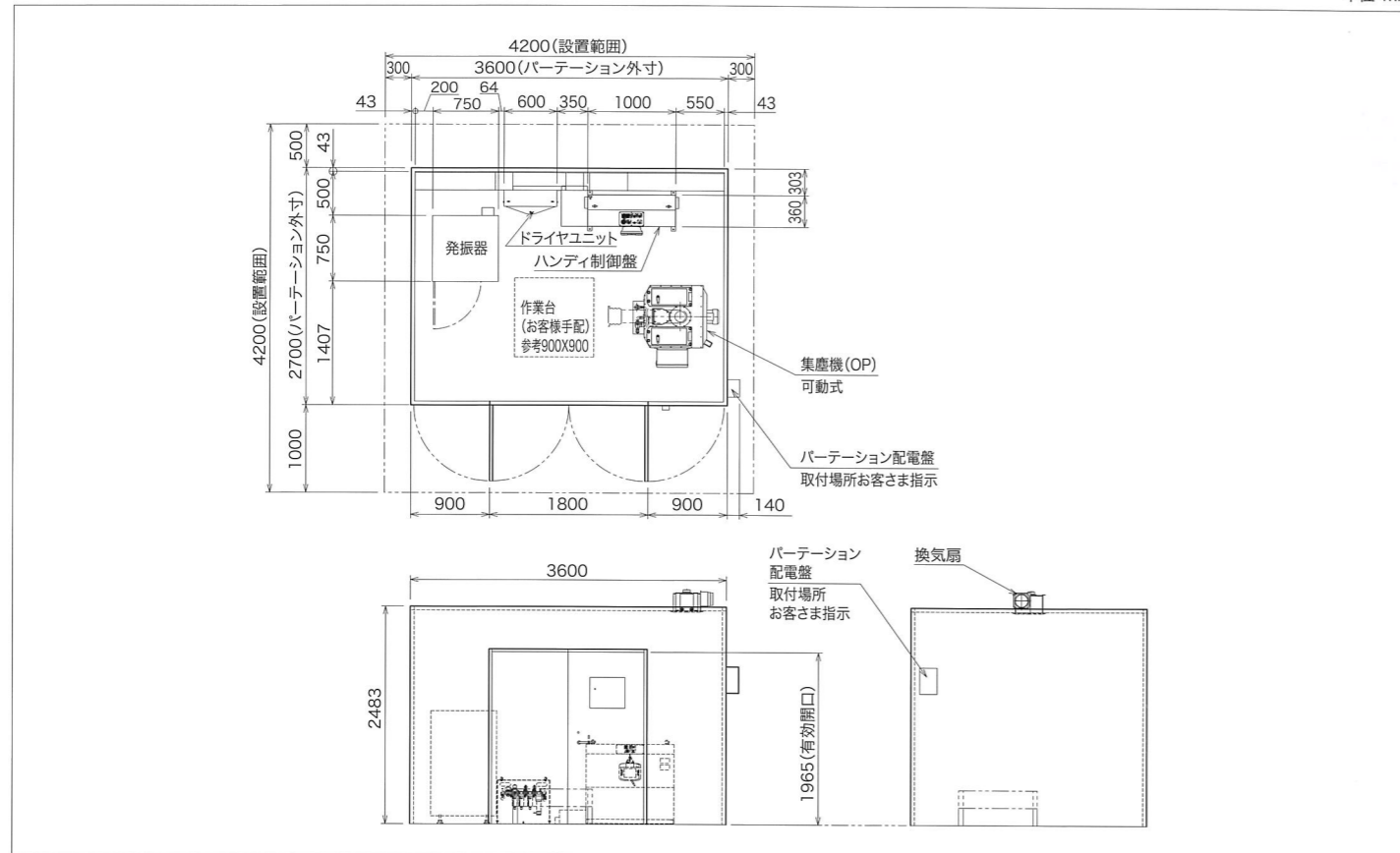


■寸法図

単位:mm



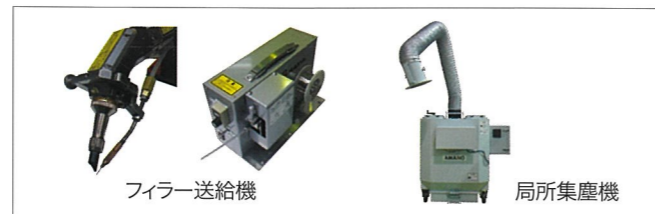
■マシン仕様

機種名	FLW-600MT	
型式名	FLW600MT	
発振器	ML-3060AS (アマダミヤチ製)	
最大定格出力	W	600 (パルス) 550 (CW)
最大ピーク出力	W	5500 (パルス) 550 (CW)
波長	μm	1.07±0.003
パーテーション L×W×H	mm	3600×2700×2483
安全装置	ワーク検出タイプ、安全ヘルメット	
エア流量	NL/min	100 以上
受電容量	kVA	4

■標準装備



■オプション



- 安全に正しくお使いいただくために、ご使用前に必ず「取扱説明書」をよくお読みください。
- 本機を稼働するためには、危険防止のため専用パーテーションが必要です。
- このシステムは、波長 1.07 μm 専用遮光材が必要です。

※本仕様ならびに外観・装備は、改良のため予告なく変更することがあります。
※本カタログに記載されている仕様は、日本国内向けです。
※公的機関や税務上の書類への表記は型式名にて記載願います。

©AMADA CO., LTD. All Rights Reserved.

株式会社アマダ

〒259-1196 神奈川県伊勢原市石田200 TEL(0463)96-1111(代)
商品のお問い合わせ先 TEL(0463)96-3240(直)
www.amada.co.jp

お問い合わせ



アマダ本社は、環境マネジメントシステム ISO14001:2004の認証取得事業所です。

E085-HQ02ja
Jan. 2019

SOLUTION

FLW 600 MT

ハンディファイバーレーザー溶接機



600W 発振器搭載

省スペース・省エネ型のハンディファイバーレーザー溶接機

FLW-MTは平均出力の約10倍もの高いピーク出力を得ることができる新方式の発振器を採用。直感的な操作が可能な簡易モードと波形制御など細かい設定が可能な通常モードの溶接条件設定が可能な他、加工条件の再現性を向上させるリアルタイムパワーフィードバック、発振器への戻り光による損傷リスクを軽減させる光アイソレーターなど、各種機能が搭載されています。また、ファイバーレーザーの特長である高い発振効率により、従来の発振方式と比べ消費電力が低減されます。さらに、アマダのファイバーレーザー溶接機では、発振器と溶接トーチの冷却方式を完全空冷とすることにより、より一層の省エネ性能を実現します。

ハンディファイバーレーザー溶接機 FLW-600MT 登場!



5 FLW-600MT つの新テクノロジー

テクノロジー 1

簡単操作機能

<溶接条件>
簡易モードでは「出力」と「周波数」を選択するだけで、簡単に溶接条件を選択することができます。



<波形制御機能>

材質板厚に応じて、レーザー発振波形を変化させ、入熱をコントロールすることにより、理想的な溶接を行います。

テクノロジー 2

安定加工機能

<リアルタイムパワーフィードバック機能>

励起モジュール内のレーザー出力をリアルタイムでサンプリングし、設定波形と比較することにより、出力や波形の補正を行います。



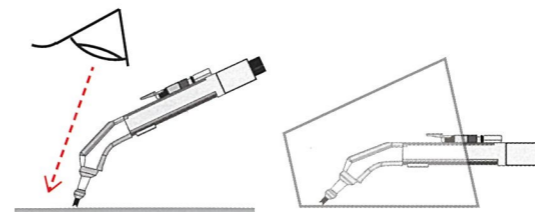
<光アイソレーター>

戻り光を光学的に緩和し、レーザー発振器の最重要部品ともいえる発振モジュールの損傷を防ぎます。
※伝送ファイバーの焼損を防ぐためのユニットではありません。

テクノロジー 3

L型トーチ/ストレート型トーチ

溶接トーチはL型/ストレート型の切替方式です。特にL型トーチは狭小部への加工がしやすくなります。また、加工点への視認性が高く、操作性が向上します。



加工点への視認性が高く
操作性が向上

狭小部への加工が容易

テクノロジー 4

省エネ

ファイバーレーザーは、エネルギー効率が非常に高い発振器で、少ない受電容量でマシンを稼働することができます。また、ムダになる熱量を最小限に抑えられることから、完全空冷方式での冷却が可能となり、チラーを必要とする水冷方式に比べメンテナンス性が向上します。

加工時消費電力比較 **92.0%**のダウン

<高効率ファイバーレーザー>



・従来のYAGレーザーと比べてエネルギー効率が向上
・完全空冷方式でチラー不要

テクノロジー 5

マシンを安心してお使いいただくために

アマダではマシンを安心してお使いいただくために、標準仕様として以下の安全対策を行っております。

①パーテーション

マシンをパーテーション内で運用することによりレーザービームが外部に漏れ出ることを防ぎます。パーテーションの扉に「インターロック」を設け作業員以外の入室を防ぎます。



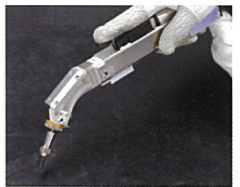
②ワイヤレスヘルメット

フルフェイスヘルメットにより作業員への反射光を防ぎます。「ヘルメット装着センサー」「破損検知器付保護シールド」によりヘルメット非装着時、ヘルメット不具合時のレーザー射出はできません。



③ハンディトーチ

レーザービームは定められた「射出手順」により射出が可能となります。「静電容量センサー」により、トーチの先端が材料に触れていない場合は、レーザービームが射出できません。



FLW 600 MT